香南の文化人 Person of Culture

詩人 岡本彌太

おかもとやた　1899〜1942

■生涯学習課　☎57-7523

岡本彌太近影

岡本彌太は土佐が生んだ近代のすぐれた詩人で、明治32年香我美町岸本生まれ。高校卒業後、神戸・高知市で就職の後、夜須尋常高等小学校の代用教員を経て正教員となり、赤岡・前浜などで教壇に立ちました。

その間、詩作に没頭して「ゴルゴダ」「青樹(海底深林)」「麗詩仙」「青騎兵」「鸞」「日本詩壇」などの詩誌で活躍しました。昭和7年に発表した詩集『瀧』が特に高い評価を受け、全国的にも知られています。

彌太は数多い詩人の中から宮沢賢治から特に強い影響を受けており、その東洋的愛情深い詩作は「南海の宮沢賢治」と呼ばれていました。

昭和17年、わずか43歳で病気によりこの世を去りました。

没後、多くの仲間や彌太を慕う人々の努力で月見山のふもとに詩碑が建てられました。詩碑には高村光太郎の書で、詩集「瀧」の巻頭にある「白牡丹図」の詩が刻まれています。

そして今なお、詩人たちの間で彌太の存在は大きなものであり続けています。

白牡丹図

白い牡丹の花を
捧げるもの
剣を差して急ぐもの
日の光青くはてなく
このみちを
たれもかへらぬ

第16回 岡本彌太文学賞表彰

1月28日(土)赤岡町弁天座で第16回岡本彌太文学賞表彰式が行われ、市内全小中学校から、各部門を合わせて1,924点の応募があり、73点が入選しました。

詩部門 最優秀 中学生の部

尾崎 晴(香我美中3年)

うすれゆく記憶

うっすらと雪化粧をした庭
プールにとびこむ前の水面
木のてっぺんで見たあの景色
それは
頭の片隅に残る
かすかな記憶

家族旅行の前日の夜
風が運んでくる雨のにおい
おかえりの言葉と夕飯のかおり
ふとした瞬間に
体中をかけめぐる
あの感覚

芝生にねころんで見た青い空
すいこまれそうになる荒々しい海
何もすることのない夏の昼時
まるで
異次元に迷い込んだかのような
ゆるやかな時の流れ

もう永遠に
思い出すことのできない
「今日」
という一日を
決して忘れないように
私は毎日戦っている

詩部門 最優秀 小学生の部

重岡 菜花(野市小2年)

ゆきはきれい

ゆきはきれい ゆきはきれい
むしめがねでみてみると
ゆきのけっしょうきれいだな

ゆきさん ゆきさん
なんでそんなにきれいなの
まいにちおしゃれの
れんしゅうしてるからよ

俳句部門 最優秀 中学生の部

髙田 寧々(野市中3年)

まっしろな　ことばがみえて　雪下ろし

俳句部門 最優秀 小学生の部

コボ イリス 理咲子(野市小3年)

秋空を　見上げつづける　小鳥たち

※許可いただいた方のみ写真を掲載しています

防災のススメ

「もしも」に備えを！

■防災対策課　☎57-8501

災害時、ケガ人を見つけたらどうする？

平成29年2月19日(日)南海トラフ巨大地震が発生したという想定のもと、野市中央病院と老人ホーム施設および敷地内で、医療・福祉従事者や防災士会、地元の自主防災組織、市役所などから約250人が参加して、災害救護訓練が行われました。

写真：自主防災組織の方による負傷者搬送の様子

東日本大震災発生５日後の様子。道路状況がひどく、救急車の進入や後方支援の困難が続いた

南海トラフ巨大地震発生時には、甚大な被害が広域で発生し、救助、避難などへの後方からの支援活動が困難な状況になることが予想されます。そのため、支援が到着するまでの間は、地域の力だけで災害救護活動を可能な限り行うことが必要となります。

今回の訓練は、地域の医療や福祉の資源（ヒト・モノ・情報）を救護病院となる野市中央病院を中心とする医療救護所に集めて負傷者や避難者に対応する体制づくり、さらには市民による医療救護所までの搬送、高齢者や障害者への避難支援などを通して、地域の力を結集した災害救護活動を体感し、理解していただくことを目的に行いました。

訓練では、救護病院の重傷者への治療を維持させるために、負傷者のトリアージ※を行い、軽傷者は病院前で応急手当を受けました。

※重症度によって、治療や搬送先の順位を決めること

みんなの力が必要です！

医療救護所の機能をストップさせないためには、市民による応急手当も必要になってきます。

訓練に参加した自主防災組織の方からは、「公助が期待できない中では、地域の助け合いが絶対に必要だ。応急手当や搬送など自分たちにもできることがあることを学べた」という意見がありました。

南海トラフ巨大地震発生後、助かった命をつないでいくためにも、これからも自助・共助・公助の連携を深めていく訓練を重ねていきます。

重傷者は病院に搬送され治療

軽傷者は病院前で応急手当を受ける

訓練を重ねて、もしもの時に備えよう！

自主防災組織や地域の防災訓練に身近なモノを活用した負傷者の搬送や応急手当の訓練を取り入れてみませんか？

搬送や応急手当の訓練、その他の訓練、学習会などを取り入れたい場合は、防災対策課までご相談ください。講師を派遣するなど市が支援します。

負傷者搬送方法の指導の様子